

# 伊藤忠エネクス株式会社

(東証一部上場 8133)

## 2021年3月期第1四半期 決算説明資料

2020年7月31日

## ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記の通り表記を置き換えております。  
「営業活動に係る利益」 ⇒ 「営業利益」  
「当社株主に帰属する四半期純利益」 ⇒ 「四半期純利益」

# 業績ハイライト

## 2021年3月期第1四半期決算概要

■「**四半期純利益**」は、前年比+32.4%・**9億円増加の36億円**。

新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要で、家庭用LPガス・電気の販売量が底堅く推移したこと、石油製品の輸出入事業における原油価格の変動を捉えたオペレーション、営業経費の削減により、増益。

■「**売上総利益に対する販管費率**」は、**78.0%**と、前年比△1.7%となり、引続き経費をコントロール。

売上収益 **1,482**億円 (前年同期比△32.7%)

営業利益 **44**億円 (前年同期比+3.1%)

売上総利益 **204**億円 (前年同期比△1.5%)

四半期純利益 **36**億円 (前年同期比+32.4%)

# 新型コロナウイルス感染症の影響について

## 車販売への影響は大きいものの、全体としては現時点では影響は軽微

### 業績への影響

	石油	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート勤務や外出自粛により、ガソリン需要が減少し、販売量<b>減少</b>。</li> </ul>
	LPガス	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務用、工業用、オートガスのLPガスや産業用ガス需要は、工場等の稼働率低下の影響により、<b>減少</b>。</li> <li>巣ごもり需要により、家庭用LPガスは<b>増加</b>。</li> </ul>
	電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>電力供給先である店舗・工場等の稼働率が低下したことにより、高圧電力の販売量は<b>減少</b>。</li> <li>巣ごもり需要により、低圧電力の販売量は<b>増加</b>。</li> </ul>
	車販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス対策による店舗の営業時間短縮などにより、来店客数が減少し、販売台数も大きく<b>減少</b>。4月～6月の販売台数は、前年比△24%。</li> </ul>

### 各種販売数量

■ ガソリン	558千KL (前年同期比△22.1%)	■ LPガス	111千トン (前年同期比△12.0%)	■ 電気小売(GWh)	509GWh (前年同期比△11.8%)
■ 軽油	737千KL (前年同期比△5.2%)	■ 産業用ガス(百万m <sup>3</sup> &千トン)	16千トン (前年同期比△16.2%)	■ 新車	5千台 (前年同期比△23.6%)

# 新型コロナウイルス感染症の対応について テレワーク環境の整備強化、在宅勤務を推進

## BCPの取組み

- 社長を本部長とする「新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置
- テレワーク環境の整備強化（TV会議・電話会議・ネットワーク増強）
- 在宅勤務、時差出退勤、3密を避けた座席配置
- 手洗い、消毒、うがい、換気、環境消毒の推進
- 大人数が集まる会議、集会、研修等の自粛・延期
- 国内、海外の出張自粛
- 会食の自粛

## 財務状況

- ・手元流動性は十分確保
- ・ネットDER: ▲0.10倍(実質無借金)
- ・十分な当座貸越枠並びに社債(CP)発行枠を確保
- ・格付け維持  
JCR社 長期格付け：A+ / 短期格付け：J-1  
※2020年7月時点の評価

	20年3月末 実績	20年6月末 実績	増減
現金及び 現金同等物	192	469	+277
その他の 短期金融資産	281	181	△100

# 目次

## ◇ 2021年3月期第1四半期決算概要

- ① 全社概要
- ② セグメント別概要

## ◇ Appendix

# 2021年3月期第1四半期決算概要

## ① 全社概要

# 2021年3月期第1四半期 決算/サマリー

## 巣ごもり需要、石油製品の輸出入オペレーション、経費削減により、大幅増益

(億円)	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減	21年3月期 計画	進捗率
売上収益	2,202	1,482	△ 720	7,100	21%
売上総利益	207	204	△ 3		
販管費	▲165	▲159	+ 6		
営業利益	43	44	+ 1	160	28%
持分法による投資損益	7	6	△ 1		
四半期純利益	27	36	+ 9	110	33%
売上総利益に対する販管費率	79.7%	78.0%	△1.7%		
配当 (円/株)	—	—	—	44	—

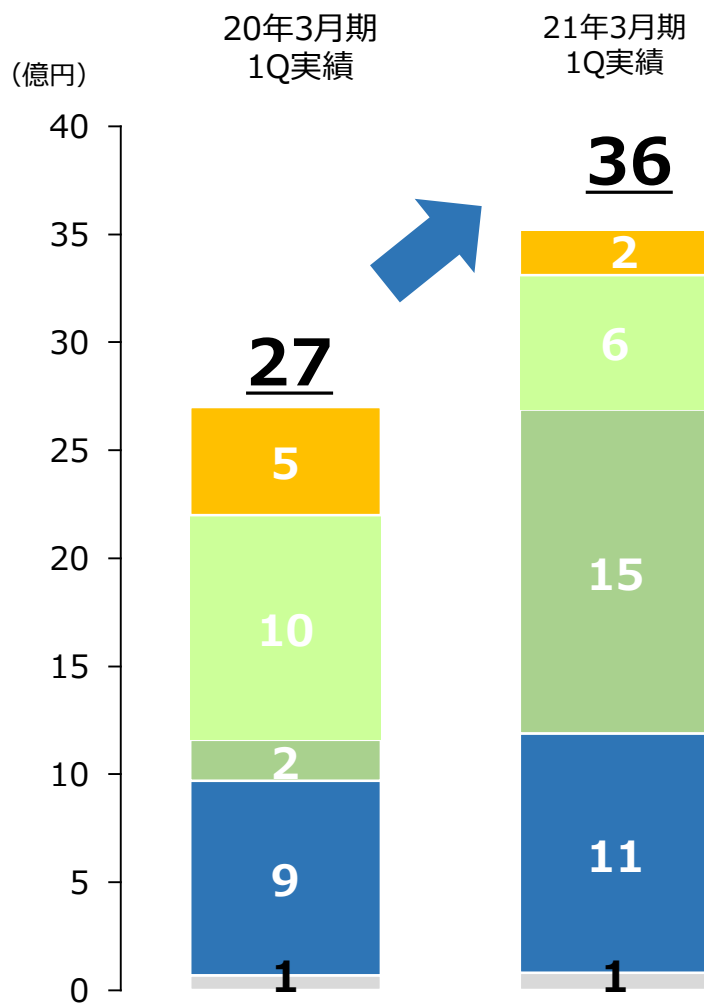
□ 「**四半期純利益**」は、前年比 + 32.4%・**9億円増加**。

新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要で、家庭用LPガス・電気の販売量が底堅く推移したこと、石油製品の輸出入事業における原油価格の変動を捉えたオペレーション、営業経費の削減により、増益。

□ 「**売上総利益に対する販管費率**」は、**78.0%**と、前年比△1.7%となり、引続き経費をコントロール。



# セグメント別 四半期純利益 産業ビジネス事業が大幅増益により、利益を牽引



## 主たる増減要因

### ■ ホームライフ (前年同期比 : $\Delta$ 3億円、計画進捗率 : 7%)

直売顧客軒数は、微減の550千軒。LPガス販売数量は、巣ごもり需要により、家庭用LPガスは増加するも、業務用や工業用、オートガスは、工場の稼働率低下により、需要が減少し、全体としては前年同期を下回る。損益面はLPガス輸入価格下落に伴う在庫影響やLPガス及び産業ガス販売数量の減少により、減益。

### ■ カーライフ (前年同期比 : $\Delta$ 4億円、計画進捗率 : 22%)

石油製品の販売数量は前年同期を下回り、また、新車販売台数は、新型コロナウイルス感染症対策による店舗の営業時間短縮により、前年同期を大きく下回る。損益面は、石油製品の販売数量減少と、自動車ディーラー事業の販売台数減少やサービス収益減少により、減益。

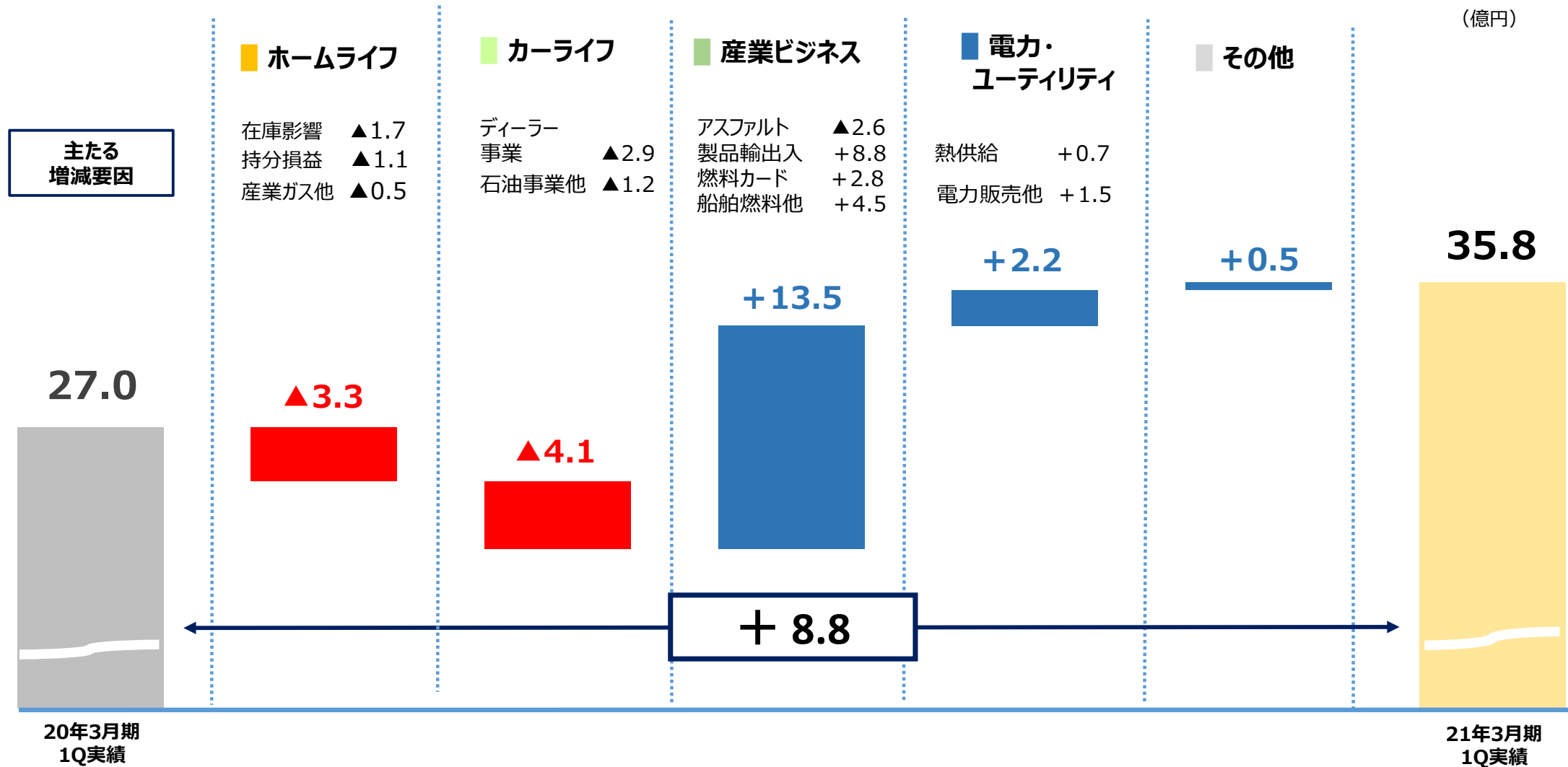
### ■ 産業ビジネス (前年同期比 : +13億円、計画進捗率 : 63%)

産業用石油製品や自動車燃料カード事業では、工場等の稼働率低下や営業車のカード利用の減少により、販売数量は前年同期を下回る。一方、アスファルトや船舶燃料事業は、販売数量は増加。損益面は、石油製品の輸出入事業における原油価格の変動を捉えたオペレーション、営業経費の削減により、大幅増益。

### ■ 電力・ユーティリティ (前年同期比 : +2億円、計画進捗率 : 32%)

小売電力の販売数量は、巣ごもりにより、家庭用電力の消費量が増加、また家庭向けを中心とした低圧契約件数の増加により、低圧販売量は増加するも、法人向け大規模高圧契約の減少が大きく、販売数量は前年同期を下回る。損益面は、発電領域において、昨年度実施していた大型の定期修理が完了し、当年度は稼働率が上昇し、増益。

# セグメント別 四半期純利益分析



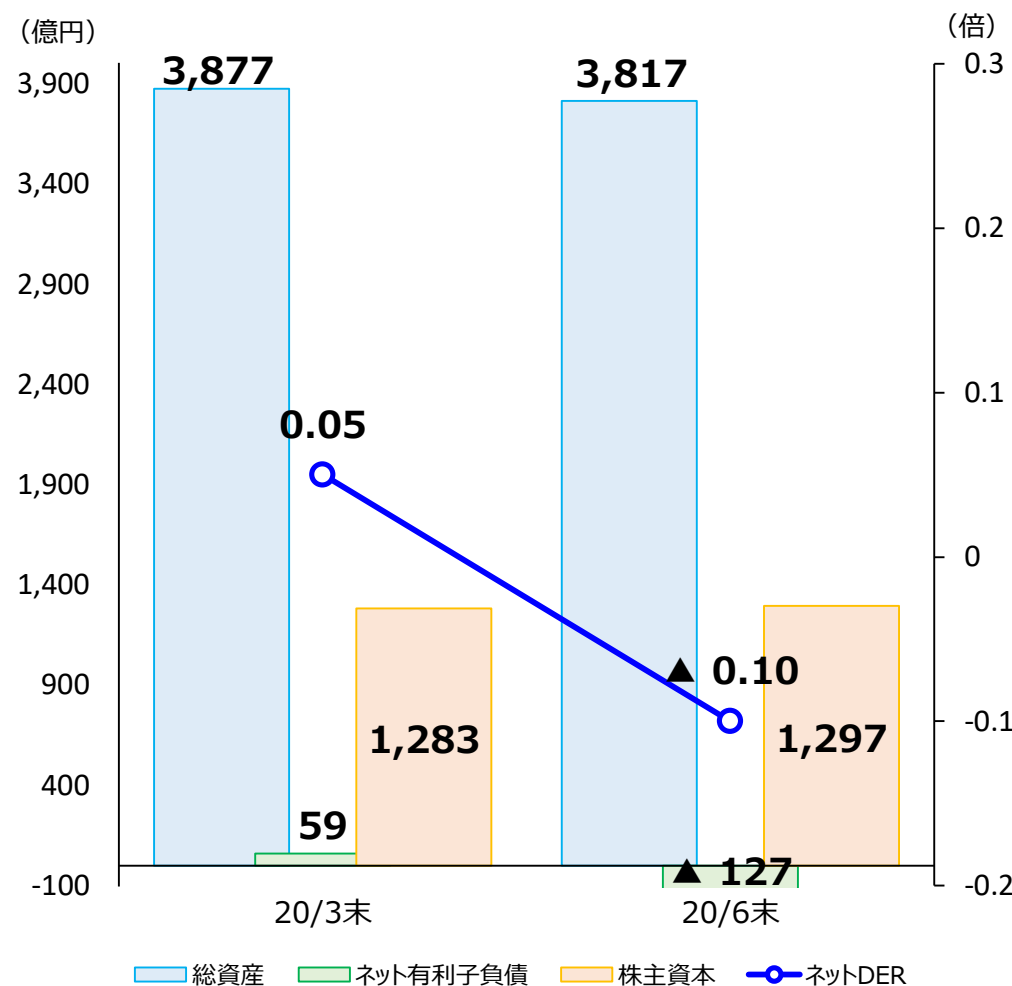
# 取扱数量・単価下落等の影響で営業債権債務が減少

□ **総資産**：営業債権債務の減少により、前期末比60億円減少し、**3,817億円**。

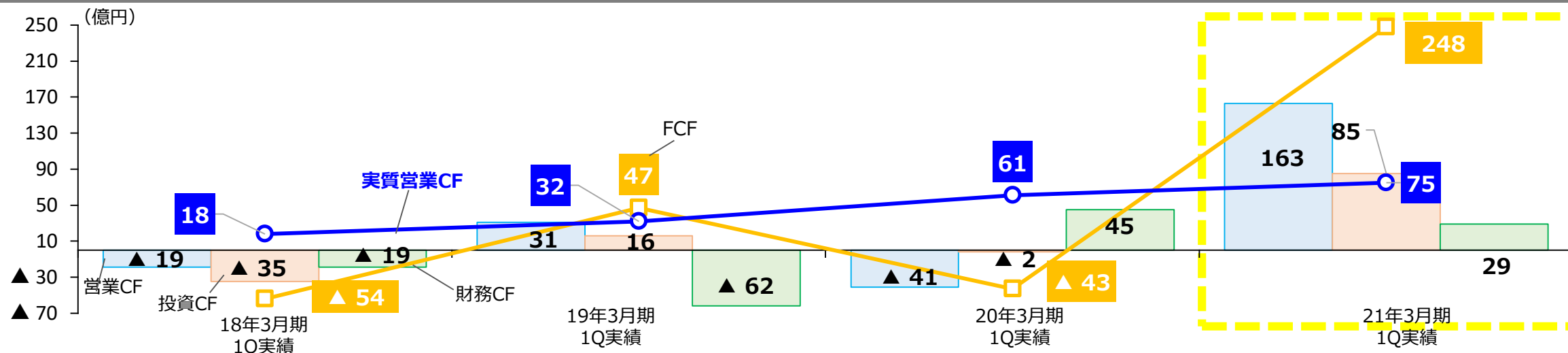
□ **株主資本**：当期純利益の積上げ等により、前期末比13億円増加し**1,297億円**。

□ **ネットDER**：現金及び預金の増加によりネットDERがマイナス値  
(億円)

	20年3月末 実績	20年6月末 実績	増減
総資産	3,877	<b>3,817</b>	△ 60
ネット有利子負債	59	<b>▲127</b>	△186
株主資本	1,283	<b>1,297</b>	+ 13
株主資本比率	33.1%	<b>34.0%</b>	+0.9pt
ネットDER	0.05倍	<b>▲0.10倍</b>	△0.14



# キャッシュ・フロー 営業CF、実質CFともに前年を上回る



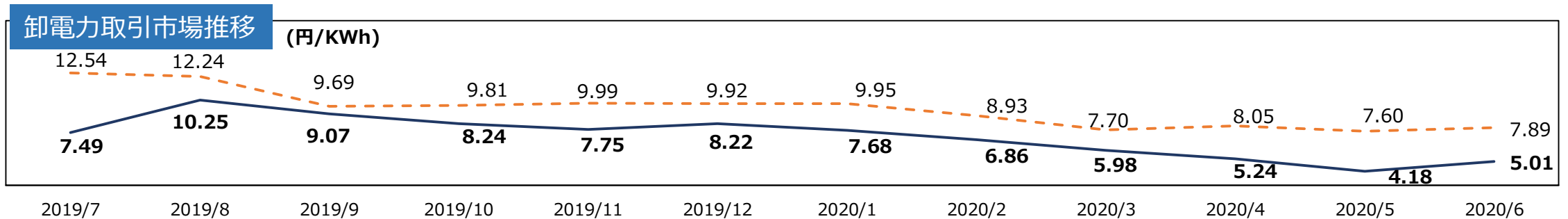
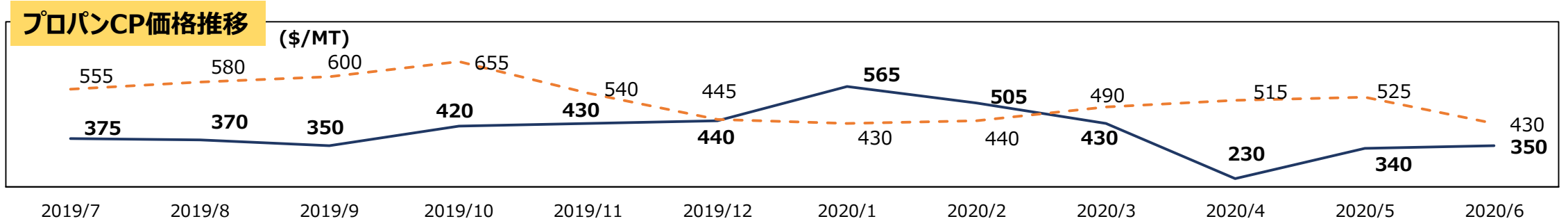
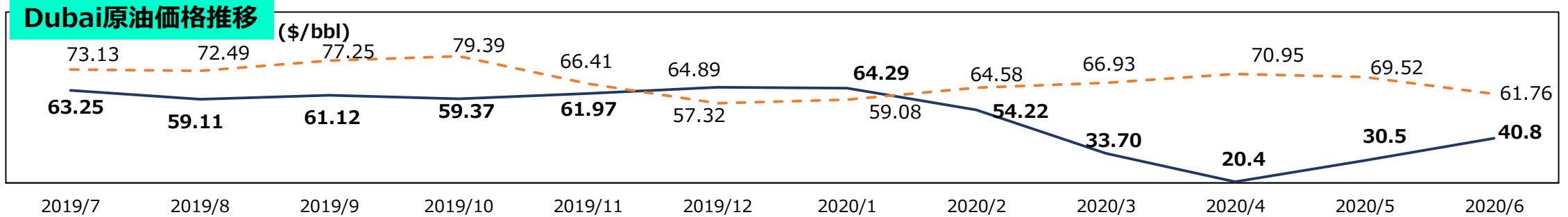
キャッシュ・フロー	18年3月期 1Q実績	19年3月期 1Q実績	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲19	31	▲41	163
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲35	16	▲2	85
(フリー・キャッシュ・フロー)	▲54	47	▲43	248
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲19	▲62	45	29
<b>実質的なキャッシュ・フロー</b>				
実質営業キャッシュ・フロー (※)	18	32	61	75

(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」

# (参考) 市場動向

## 原油価格は新型コロナウイルス感染症の影響により不透明な状況が継続

実線：直近値 点線：前年同月



# 2021年3月期第1四半期決算概要

## ② セグメント別概要

# セグメント別業績

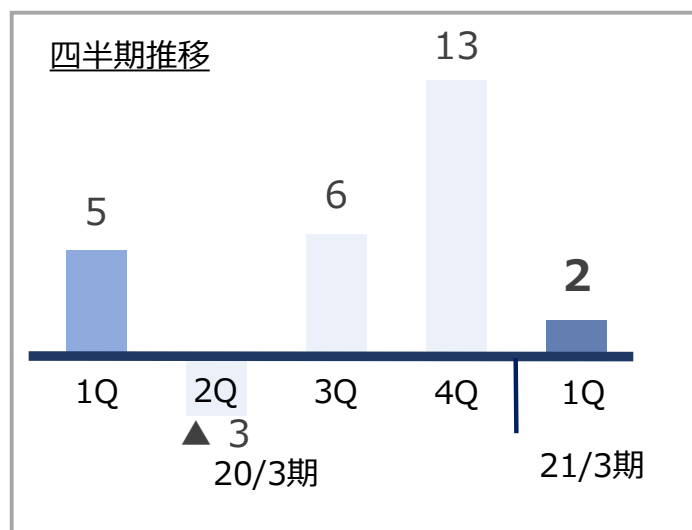
(億円)

		20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減	増減率 %	21年3月期 計画	進捗率
■ 全社	売上収益	2,202	<b>1,482</b>	△720	△32.7	7,100	21%
	営業利益	43	<b>44</b>	+ 1	+ 3.1	160	28%
	当期純利益	27	<b>36</b>	+ 9	+32.4	110	33%
■ ホームライフ	売上収益	198	<b>158</b>	△ 41	△20.1	—	—
	営業利益	6	<b>1</b>	△ 5	△89.7	—	—
	当期純利益	5	<b>2</b>	△ 3	△65.5	26	7%
■ カーライフ	売上収益	1,261	<b>819</b>	△442	△35.0	—	—
	営業利益	19	<b>9</b>	△ 10	△52.8	—	—
	当期純利益	10	<b>6</b>	△ 4	△39.2	28	22%
■ 産業ビジネス	売上収益	500	<b>323</b>	△178	△ 35.5	—	—
	営業利益	3	<b>17</b>	+ 15	+575.8	—	—
	当期純利益	2	<b>15</b>	+ 13	+705.8	24	63%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	243	<b>183</b>	△ 60	△24.8	—	—
	営業利益	14	<b>15</b>	+ 1	+ 8.9	—	—
	当期純利益	9	<b>11</b>	+ 2	+24.1	35	32%

# ホームライフ部門

## LPガス輸入価格下落による在庫影響、LPガス・産業ガスの販売数量減少により、減益

	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	(億円)	
					21年3月期 計画	進捗率
売上総利益	53	<b>46</b>	△ 6	直売顧客軒数は、微減の550千軒。LPガス販売数量は、巣ごもり需要により、家庭用LPガスは増加するも、業務用や工業用、オートガスは、工場の稼働率低下により、需要が減少し、全体としては前年同期を下回る。損益面はLPガス輸入価格下落に伴う在庫影響やLPガス及び産業ガス販売数量の減少により、減益。		
販管費	▲48	▲46	+ 2			
営業利益	6	<b>1</b>	△ 5			
持分法損益	3	<b>2</b>	△ 1			
<b>四半期純利益</b>	5	<b>2</b>	△ 3			
					26	7%



主な関係会社損益	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	2	2	△ 0
エコア (当社持分51%)	2	1	△ 1
エネアーク (当社持分50%)	3	2	△ 1

顧客軒数(千軒)	20年 3月末	20年 6月末	増減
LPガス直売軒数	551	550	△ 1
電力小売軒数	93	96	+ 3

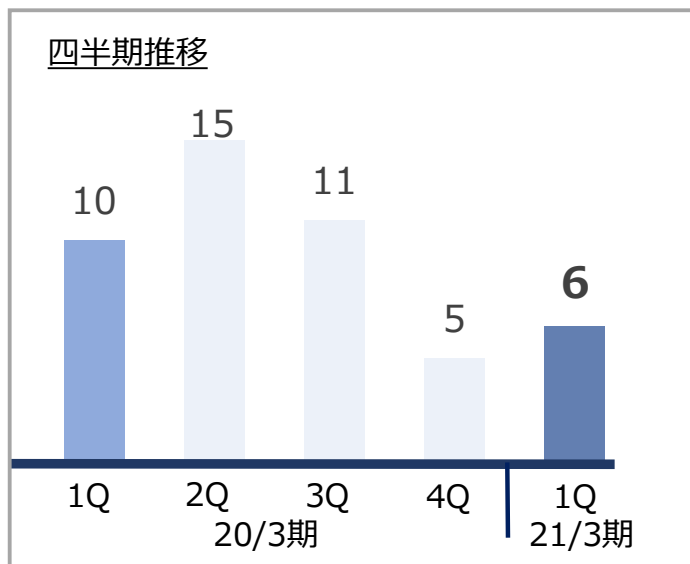
販売数量	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減
LPガス(千トン)	120	108	△10%
産業用ガス(百万m <sup>3</sup> &千トン)	19	16	△16%



# カーライフ部門

## ディーラー事業へのコロナ影響大きく、車販売台数が減少し、減益

	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	(億円)	
					21年3月期 計画	進捗率
売上総利益	113	<b>104</b>	△ 9	石油製品の販売数量は前年同期を下回り、また、新車販売台数は、新型コロナウイルス感染症対策による店舗の営業時間短縮により、前年同期を大きく下回る。 損益面は、石油製品の販売数量減少と、自動車ディーラー事業の販売台数減少やサービス収益減少により、減益。		
販管費	▲95	▲94	+ 1			
営業利益	19	<b>9</b>	△ 10			
持分法損益	0	<b>0</b>	△ 0			
<b>四半期純利益</b>	10	<b>6</b>	△ 4			
					28	22%



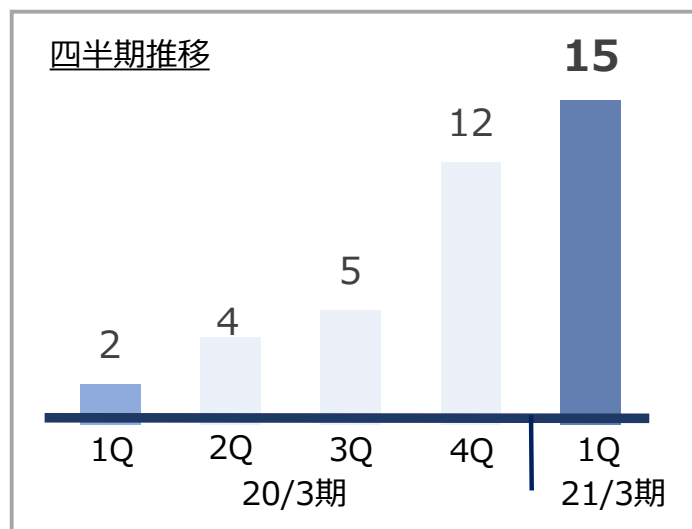
主な関係会社損益	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減
エネクスフリート	3	6	+ 3
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	2	▲ 1	△ 3

販売数量	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減
ガソリン(千KL)	469	377	△20%
灯油(千KL)	54	57	+ 6%
軽油(千KL)	495	470	△ 5%
新車(千台)	6	5	△24%
中古車(千台)	6	5	△20%

# 産業ビジネス部門

## 石油製品の輸出入オペレーション、経費削減により、大幅増益

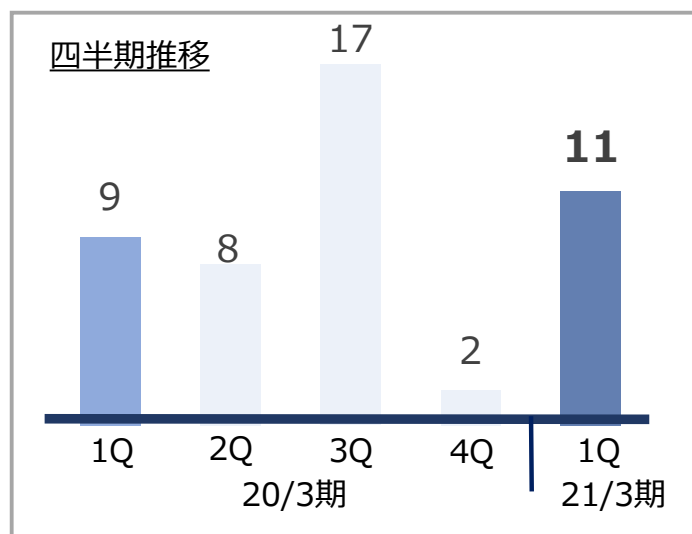
	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	(億円)	
					21年3月期 計画	進捗率
売上総利益	14	<b>27</b>	+ 13	産業用石油製品や自動車燃料カード事業では、工場等の稼働率低下や営業車のカード利用の減少により、販売数量は前年同期を下回る。一方、アスファルトや船舶燃料事業は、販売数量は増加。 損益面は、石油製品の輸出入事業における原油価格の変動を捉えたオペレーション、営業経費の削減により、大幅増益。		
販管費	▲12	▲10	+ 2			
営業利益	3	<b>17</b>	+ 15			
持分法損益	0	<b>0</b>	△ 0			
<b>四半期純利益</b>	2	<b>15</b>	+ 13			
					24	63%



販売数量	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減
ガソリン(千KL)	241	176	△27%
灯油(千KL)	142	75	△47%
軽油(千KL)	280	266	△ 5%
重油(千KL)	484	539	+ 11%
アスファルト(千t)	70	72	+ 2%

# 電力・ユーティリティ部門 発電領域で前期より稼働率が上昇し、増益

	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減	主たる増減要因 (当期純利益)	(億円)	
					21年3月期 計画	進捗率
売上総利益	26	<b>26</b>	△ 0	小売電力の販売数量は、巣ごもりにより、家庭用電力の消費量が増加、また家庭向けを中心とした低圧契約件数の増加により、低圧販売量は増加するも、法人向け大規模高圧契約の減少が大きく、販売数量は前年同期を下回る。損益面は、発電領域において、昨年度実施していた大型の定期修理が完了し、当年度は稼働率が上昇し、増益。		
販管費	▲12	▲12	+ 0			
営業利益	14	<b>15</b>	+ 1			
持分法損益	3	<b>3</b>	△ 0			
<b>四半期純利益</b>	9	<b>11</b>	+ 2			35



主な関係会社損益	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減
エネクス電力グループ	0	5	+ 4
エネクスライフサービス	1	1	+ 0
東京都市サービス (当社持分66.6%)	2	3	+ 1
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	2	2	+ 0

販売数量	20年3月期 1Q実績	21年3月期 1Q実績	増減
電気小売(GWh)※	577	509	△12%
内訳)高圧販売※	486	384	△21%
低圧販売※	92	125	+37%
蒸気(千トン)	150	125	△16%
熱量(TJ)	256	237	△ 7%

(※速報値ベースでの算出)

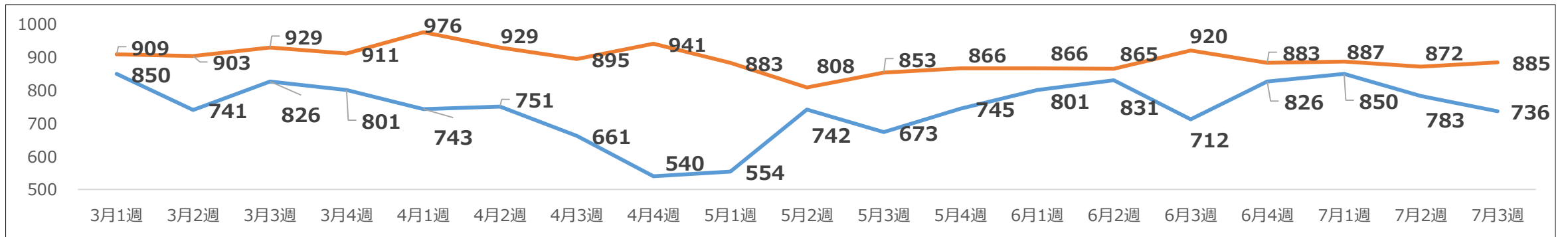
# Appendix

# Appendix

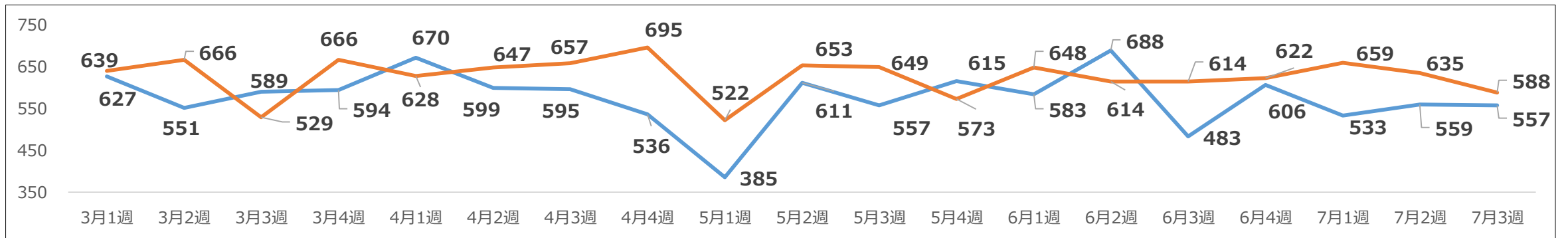
## 【参考】ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計) ※ 石油連盟の統計資料を基に作成

### ガソリン週間出荷量 単位(千KL)

— 2019年 — 2020年



### 軽油週間出荷量 単位(千KL)



# Appendix

## 【参考】 LPガス・新車の販売量(全国統計)

### LPガス(プロパン)／月別販売数量(1月～5月) 単位(千t)

	1月			2月			3月			4月			5月		
	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減
家庭・業務用	827	780	△6%	795	747	△6%	750	749	△ 1%	675	646	△ 4%	562	513	△ 9%
自動車用	5	5	△8%	5	4	△6%	5	4	△10%	4	3	△30%	4	2	△42%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

### 新車／月別販売台数(普通車・小型車)(1月～6月) 単位(千台)

	1月			2月			3月			4月			5月			6月		
	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減	2019	2020	増減
	218	193	△12%	261	233	△11%	357	322	△10%	200	145	△28%	213	124	△42%	248	182	△27%

※ 日本自動車販売協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

コーポレート・コミュニケーション室

担当：國貞、今泉、和田

【TEL】03-4233-8003      【FAX】03-4533-0102

【E-MAIL】[enex\\_irpr@itcenex.com](mailto:enex_irpr@itcenex.com)